

海浜空間における便利施設の分布と機能に関する調査研究

-千葉県九十九里浜に所在する海水浴場を対象として-

Study on convenient-facilities distribution in seashore space and Surveillance a function

-As an object for beaches at located in kujuukurihama of chiba pref-

○仁平広志¹, 山本和清², 近藤健雄²

*Hiroshi Nihei¹, Kazukiyo Yamamoto¹, Takeo Kondo²

In seashore use, shortage of the convenient facilities which the garbage by a user person placed, threw away and suited and the number of users etc. pose a problem, and we will be anxious about reduction of the number of visitors in a beach from now on.

While there were these examples, in Chiba Prefecture in which a leading beach exists even in Japan, the being Chiba flower community meeting was performed in Heisei 14 and 15.

It discussed focusing on civic voice and three, a protection side, an environmental side, and a use side, were taken up. Improvement and reexamination were carried out in the area which is taking the measure to the place and tourist who investigate six beaches now and became of the number of visitors clear in many cases.

1. 研究背景

日本は海に囲まれている島国であり、2012年の調べで1177ヶ所の海水浴場が存在している。2013年の来客数は、神奈川県では約685万人、千葉県においては約111万人もの人々が訪れている。そんななか、海浜利用において、利用客者によるゴミの置き捨てや騒音、利用客数にあった便利施設の不足などが問題となっており、今後、海水浴場における来客数の減少が懸念される。そこで、2013年に静岡県伊豆市では「家族で楽しめるビーチ」をテーマに条例改正が行われた。しかし、改正後前年の751万人に比べ約43%も来客数が減ってしまった。

これらの事例があるなか、日本でも有数の海水浴場が存在する千葉県では平成14年～15年に千葉の花県民会議が行われた。市民の声を中心として話し合い護岸工事による浸食防止の海岸整備などの防護面・海岸線の自然保持や美化などの環境面・駐車場の狭いことや多目的な施設の不足などの利用面の3つが取り上げられた。

2. 研究目的

海水浴場での問題は様々であるが、千葉県の「なの花県民会議」において取り上げられた上記の問題点について、まだ解消出来ていない現状がある。

そこで本研究では、まだ問題とされている便利施設の不足・改善とバリアフリー化の必要性について、現地調査とヒアリングによって現状を把握し、整備の推進に寄与する知見を得ることを目的とする。

3. 研究方法

3.1 対象地域の概要

対象地の千葉県房総半島東沿岸部に位置する九十九里浜は、全長約66kmで日本一の海水浴場が所在している。下記に対象となる範囲を示す。



Figure 1. Survey Area

3.2 現地調査の概要

九十九里浜に所存する24ヶ所の海水浴場を対象地として、便利施設の分布と機能を調査する。

本研究での便利施設の定義を以下にまとめる。

①施設において、季節限定での利用が可能ではなく一年間を通して利用出来るものとする。

②年齢や身体障害の有無に関係なく、誰でも必要とする情報にたどり着け、利用できること。

上記の内容に沿って対象地域の便利施設の分布と機能を調査する。

1：日大理工・学部・海建 2：日大理工・教員・海建

3. 3 ヒアリング調査の概要

利便施設分布を調査すると共に、利用者において以下の内容でヒアリングを行う。

- ①現在の場所を示すサインは分かりやすかったか。
- ②現在の場所をどのように確認できたか。
- ③施設において、使いやすさと近づきやすさはどうであるか。
- ④バリアフリーを含めて機能として適切であるか。
- ⑤その他

上記の 5 項目についてヒアリングを行う。

4. 調査経過と現状

全 24 ヶ所中、現在 6 ヶ所の海水浴場の現地調査を行い、76 人のヒアリング調査結果を以下に示し、多かった回答を上記の項目に沿って以下に記述する。

Table 1. Answer of hearing investigation

	回答数(人)	特徴
矢指ヶ浦海水浴場	22	大きな駐車場や休憩スペースが整っている
野手浜海水浴場	25	海辺の目の前に宿泊施設が設置されている
今泉海水浴場	8	駐車場など狭さが感じられた
堀川浜海水浴場	2	利用客も少なく、地元の方の利用だった
木戸浜海水浴場	7	施設の少なさが目立った
屋形海水浴場	12	海辺に公園があり施設も充実していた

Table 2. Answer of hearing investigation

	①	②
矢指ヶ浦海水浴場	分かりやすかった	目で確認できた
野手浜海水浴場	駐車場が分かりづらい	人から聞いた
今泉海水浴場	分からなかった	人から聞いた
堀川浜海水浴場	分かりづらい	前から知っていた
木戸浜海水浴場	分かりやすかった	サインをたどった
屋形海水浴場	位置もよく分かった	目で確認できた

Table 3. Answer of hearing investigation

③	④
不快感がなく利用でき	適切であった
良かった	良かった
特になし	年配者に不向き
もう使うことはない	改善が必要
近づきにくい	特になし
利用しやすかった	良かった

4. 1 矢指ヶ浦海水浴場について

来客数が多く、それに伴った施設が配置されていた。休憩スペースなど多様な利便施設があることから、利用者も不快なく利用できていると感じた。これは改善の結果が出ているものだと考える。

4. 2 野手浜海水浴場について

駐車場に関しては、スペースが足りなく路上駐車が目立っていた。若者が多く、一部の来客者の中では、若者が集まっているということから不快に感じる利用客も見受けられた。宿泊施設が多く、「利便施設も伴い増やしてほしい」という回答があることから、施設の機能も含め改善が必要だと考える。

4. 3 今泉海水浴場について

家族連れが多く、「アクセシビリティとして不満を感じている」という回答が多かった。場所案内のサインが分かりづらく、利便施設の確認が困難であることが想定されることから、利便施設に対しての案内の工夫が必要であると考ええる。

4. 4 堀川浜海水浴場について

砂浜の浸食により海開きがされていなかった。釣りや散歩の利用者からは、「ゴミが多く不快である」という回答があった。来客者数は少ないが、現時点での改善の要望がある為、見直しが必要であると考ええる。

4. 5 木戸浜海水浴場について

来客数に対して「利便施設が不足している」、「バリアフリーとして改善が必要」という回答が多かった。また、近隣住民による利用が多く、来客者は近づきづらい現状があることから、アクセシビリティの改善と利便施設の数を増やす必要があると考ええる。

4. 6 屋形海水浴場について

海岸に公園も設置されており、施設数も多かった。また、海岸に対する利用者の反応もよく、公園などの施設が整っていた。それより施設の利用者は「利用しやすく過ごしやすい」という回答があった。それは、施設数が多くアクセシビリティ面としても利用しやすいと考える。

5. まとめ

現在 6 ヶ所の海水浴場に対して調査を行った。それより来客数の多い場所や旅行者に対しての取り組みを行っている地域では、改善や見直しがされていたことが明らかとなった。また、砂浜の浸食が進んでいる場所や、釣りの利用者が多い場所では利便施設が不足している事が把握できた。質問項目のその他での質問に対して、住民や若者が多く集まることで、家族連れや年配の人、2 人組での来客者は不快に感じ近づきにくいという回答が多かった。

今後 18 ヶ所の海水浴場を調査する際に、各場所に対しての利便施設の数とその利用状況に注目し、比較をして行きたいと考えている。また周辺環境とも照らし合わせ、現状の結果と改善点を挙げていきたいと思う。現在の結果も踏まえて、利便施設に対しての意識と必要性を新たに調査していきたい。

参考文献

- [1] 神奈川県：神奈川県 HP、「海水浴場利用者数」
- [2] 神奈川新聞：神奈川新聞 HP、「逗子海水浴場の禁止問題」http://www.kanaloco.jp/article/71017/cms_id/79740
- [3] 千葉県：東沿岸部海岸保全基本計画
- [4] 千葉県：千葉県 HP、「海岸に関する地域の声」
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kasei/keikaku/kendoseibi/higashi-mokujji/docu>